

09

Vol.6

第14期
2023年

在住協通信

JTA 社団法人 日本在来工法住宅協会
Japan Traditional Wooden Home Association

伝統の技術を未来へ。

Interview File no. 03

会員インタビュー

北関東地区本部支部長
株式会社杉内工務店
代表取締役

杉内 理記也 さん

今月号の見出し

- ・会員インタビュー
- ・新規会員様のご紹介
- ・在住協事務局便り
- ・お知らせ

災害に備えた熱中症対策を！

Zaijyu Kyoko's Pickup!



会員インタビュー
第3回目です

みなさま、こんにちは！在住協通信のナビゲーター、在住協子の（ざいじゅうきょうこ）です。

今回は、群馬県伊勢崎市に事務所を構え、2023年度の在住協アワード理事長賞も受賞された、北関東地区本部支部長杉内さんにインタビュー！

杉内さんが、多様な人の働きやすさと品質向上のために、試行錯誤を重ね、実践されている仕組みをぜひじっくりとお読みください。



資材置場の一角をバーにされ、社員や関係者がくつろげるスペースに。ダークカラーで統一されたおしゃれな空間。

「自分がしてもらいたいことを相手にする」をモットーに

杉内工務店18年のあゆみ

今年でちょうど50歳になられた杉内さん。修業時代から約30年。今も第一線で棟梁として現場を担当しながら、杉内工務店を経営されています。親族一同大工という環境に生まれながら、高校卒業後の選択はサラリーマンでした。3年間ホテルでベルボーイとして務める中で、奥様と出会います。結婚を考えた時に、「このままずっと言われたことだけをやる仕事は性に合わない。ホテルで接客する成功者のように、自分自身で仕事をやっていきたい」と考え、大工になる決意をします。

お父様の元で8年間修業し、いくつもの現場を完成させます。仕事ぶりが評判を呼び、取引する元請事業者や仲間も増え、2005年に独立。株式会社杉内工務店として起業されました。

協会会員へメッセージ

技術の継承のために大事なのはやはり「人を育てる」こと。その受け入れ体制を作っていく事が大切だと考えています。体制を改善し、若手の育成につなげ、大工・技能者の立場を良くしていく事に、みんなで取り組んでいきたいと思っています。

※次頁で杉内さんが取り組まれている分業制の仕組みをご紹介します

社員・仲間とのつながり

社員や外注の職人さんは総勢約70名。月日を重ねるごにつきあいも長くなり、大きく成長する人の輪が印象的です。杉内さんのつぎあいの心がけを伺いました。

「まずは、約束通りお金を払う事です。そのために顧客と責任をもって契約を結びます。これは18年間徹底しています。

あとは、「242の法則」※です。トータル10ではなく「8」です。2足りないですが、どうしても仕事内容などがあわない人がいた時は、自分が無理をしすぎず、8割で十分というつきあいのバランスを心がけています」（杉内さん）

※262の法則＝どんな組織も人材の構成比率は、優秀な人が2割、普通の人6割、貢献度の低い人が2割となるという理論

相手を守るために責任を果たし、誰にも公明正大に向き合うための大切なポイントがここにあると感じました。

杉内さんの愛用道具「HiKOKIシリーズ」



パワーがあり、Bluetooth接続可能など使いやすいプロ仕様

(2023年7月18日撮影)

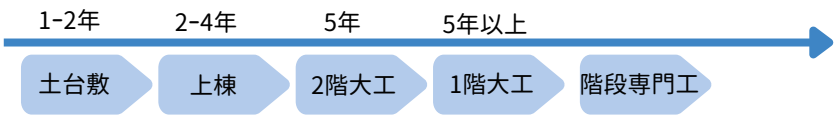
「人を育てる受入れ体制づくり」の実践 杉内工務店の分業制施工者育成の仕組み

従来の親方請負方式

10-15年で一人前に

※全工程習得が職業的自立の条件で、一人で全工程に責任を負う

分業制施工者育成方式



- ①集中施工で施工人材を早期に育成
- ②途中のステップで留まっても職業的自立が可能
- ③次工程を意識するチーム施工で品質向上が図れる
- ④高齢技能者や女性・新人にも働く機会を提供できる

※結果的に全工程を習得した大工が増え、中には独立した社員も



杉内工務店の皆さま 「代々受け継ぐ」という思いを込めた、だいたい色がテーマカラー

杉内工務店の『人の輪』老若男女・外国人の多様な仲間

杉内工務店では、外国人採用も実践。きっかけは在住協からの声掛けで、何か貢献できるならやってみようという取り組みがスタート。 「はるばる日本に来て、家族を守るために働く彼らと一緒に仕事をして、とても勉強になっています」とのこと。 自分も同じように愛する家族を守るため、ひたすら努力し、仕事を広げ、責任を果たして社員や仲間も守っている事を再認識したそうです。 奥様に伝えると、あまり外で言わないと言われるそうですが、「彼らと過ごすことで、その思いを言葉に出せるようになりました」（杉内さん）

お話の中で、何度も「守る」「責任」というキーワードが出てきます。 日曜日は、週明けに分業制のみんなが動きやすいよう、工程や注意書きを盛り込んだ手書きの納まり図面を描き、全ての工程を独自のカレンダーで管理し、誰かに負担が集中しないよう配慮する。また、身体を動かす事が好きで、率先して現場に出て、新しい納まりや最新情報に触れ、みんなと共に汗をかき、改善点を探す。 この「自分がしてもらおうとありがたい事」を惜しみなく提供するひたむきな姿勢が、伸びやかに成長を続ける会社と『人の輪』の根幹にありました。

在住協事務局便り 花岡からのメッセージ

先月の支部長会議でのご意見も踏まえ、各地へ訪問する在住協のPR活動を実施中です。協会についてご説明に参りますので、ぜひお声がけください！ 8月は、「松本安全協力会様」にお声がけいただきました。総会で活動をご紹介し、今期より全員にご入会いただけることになりました。松本安全協力会の皆さま、誠にありがとうございます。



松本安全協力会様 総会



We are members!



在住協会員数

第14期 (2023年度)	会員数	前月対比	期首対比
8月	2,781	+18	-4

新規会員様のご紹介

- ・高崎安全協力会様 (2件)
- ・青森安全協力会様 (8件)
- ・盛岡安全協力会様 (1件)
- ・秋田安全協力会様 (6件)
- ・テクノウッドワークス株式会社様 (栃木県)

新規入会の皆様
末永くよろしくお願ひ致します

お知らせ

在住協は「熱中症ゼロへ」プロジェクトに参画しています。

災害に備えた熱中症対策を！

災害に備えて準備しておきたい熱中症対策グッズ

作成：日本気象協会推進「熱中症ゼロへ」プロジェクト



FAX講読ご利用中のみなさまへ

1. カラーで読みやすいメール講読へ変更されませんか？ 貴社名・ご担当者様名・メールアドレス明記の上、zairai@jtha.jp までご連絡ください。
2. 配信停止をご希望の場合は、会社名及びFAX番号、「通信配信停止希望」とご記入の上、FAXでご連絡下さい。ご連絡のタイミングにより次月も届く場合がございます。予めご了承下さい。